

— 典子は、今 —

「人間には手と足が二本ずつあるのだと

私をはじめて気がついたのは五才の時でした」

両腕が退化したサリドマイド児として生まれた松原典子。その苦勞を乗り越え、熊本市職員となった半生を描いた作品。「映画を通して障害者のことを認識してもらえたら」という決意のもと、辻典子さん本人が松原典子を演じているのも特徴です。

- ・文部省特選
- ・厚生省推薦
- ・昭和56年度芸術祭参加作品
- ・総理府後援
- ・国際障害者年協賛作品

【監督・脚本】 松山 善三 【製作】 高橋松男・柴田輝二
【出演】 辻典子 渡辺美佐子 他 1981年 日本 カラー 118分

参考：16ミリプレス

-上映日時-

12月4日(日)、6日(火)

※両日とも同じ作品を上映します。

開場 13時30分 開映 14時(終映 16時00分)

対象 市内在住・在勤・在学の方 先着150名
会場 市立図書館2階大集会室 入場無料
その他 予約は必要ありません。直接会場までお越しください。なお、整理券はありません。
駐車台数に限りがあります。お車での来館はご遠慮ください。

お問い合わせ
視聴覚ライブラリー 電話：042 - 753 - 2401

